

平成27年度 No.1

理科教育センター便り

平成27年6月発行

発行者
久留米市理科教育センター
所長 後藤 真
久留米市南1丁目8番1号
(久留米市教育センター内)
TEL (0942) 36 - 9777
36 - 9778
FAX (0942) 35 - 9930

「理科の好きな久留米の子どもたち」をめざして

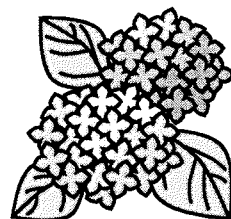
久留米市理科教育センター
所長 後藤 真

菜の花の 遙かに黄なり 筑後川

この句は、夏目漱石が明治30年に久留米を訪れ、高良山に登り、耳納連山を越えたときに詠んでいます。

私も、幾度となく、高良山つつじ森林公園にいくと、この句碑のある場所から、筑後平野を眺めて、そのどかで素晴らしい風景を堪能しています。春は、菜の花、久留米つつじ、バラと数々の花が私たちを魅了します。このような感動は、ぜひ子どもたちにも味わわせたいものです。しかし、「きれいだ」「感動した」から一歩進め、花の見方がわかり、不思議さを味わったら、子どもたちは、さらに、花や自然に興味をもつことになると思います。

たとえば、雨の季節に彩り鮮やかなアジサイの花。子どもたちの多くは、色とりどりのアジサイを見て、花びらがきれいだと思っていることでしょう。でも本当は、ご存知のように、「がく」が変化したものだを教えて、子どもたちは、花の不思議さに興味をもつはずで、また、その色は、土壌のpH（アルカリ・酸性）によって色が決まることを知れば、さらに関心をもち、もっと他の花のつくりを学びたいと意欲をかき立てることでしょう。



理科の学習においては、関心や意欲をもって対象と関わり、自ら問題を見出し、主体的に問題を解決していく学習活動を展開することが求められています。そのために、理科の内容と日常生活を関連付けることで子どもたちの興味・関心を高めたり、理科の学習で身に付けた知識や技能を使って、自然や日常生活の現象を考察し、表現したりする活動が必要です。その問題を解決するプロセスの中で、子どもたちをいかに感動させるかが大切であり、感動をもって学び続ける子どもたちは、理科好きになると考えます。

ぜひ、理科好きな子どもたちを育てるために、私たち教育に携わる者が、自然に感動し、理科に興味・関心をもって子どもたちに接していこうではありませんか。

久留米市理科教育センターでは、子どもたちの理科に関する興味・関心が高まるように、そして、先生方の指導の役に立つようにと願い、研修や事業を行っています。

本年度も先生方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

久留米市理科教育センターについて

久留米市理科教育センターとは

久留米市理科教育センターは、久留米の子どもたちに自然事象や理科学習に対する興味・関心を高め、自然にふれあうことを楽しみ、自ら自然を調べようとする態度や能力の育成を目指し、学校の理科授業を支援するために設置されたものです。

理科教育センターの事業は

理科教育センターを活性化し、理科教育の充実・振興を図ります。(子どもの科学する心)

- ① 理科教育センター組織を活用し、児童生徒が興味や関心を持てる事業の展開を図ります。理科学習に対する取組を通して、児童・生徒の興味や関心を高めます。
- ② 小・中学校と連携を強め、理科関係他団体との連携を積極的に図ります。教員の理科教育の研修会や研究会等への積極的な参加を促し、指導力向上への取組みを行います。

【科学・理科学習に対する児童・生徒の興味や関心を高める事業】

理科作品展

児童・生徒の夏休みを含む、日常生活における自由研究や作品等の募集と公開展示を行います。また、「からくり儀右衛門展」(創作物)や「福岡県小・中学生科学作品展」へ、展示作品の中から選定・推薦し、優秀作品について表彰されます。

サイエンスフェア

青少年科学館や久留米工業大学に依頼して、子どもたちの興味・関心を高めるサイエンスフェアを開催します。理科作品展と同期日、同会場で行います。

理科作品展・サイエンスフェア

9月5日(土)、6日(日)の2日間(9:00~16:00)

久留米工業大学 体育館

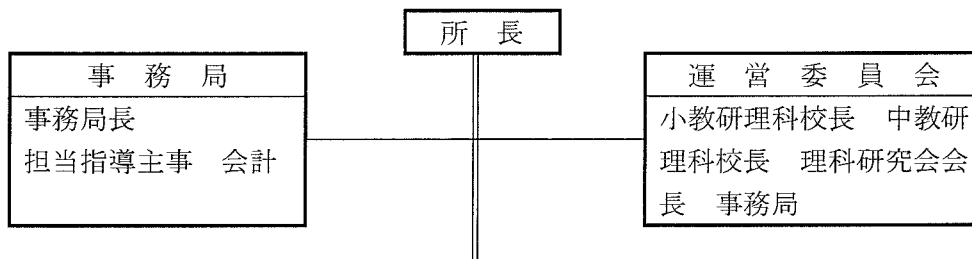
【教員の理科教育の指導力向上を図る事業】

理科教育センター委員連絡協議会

各学校より1名、理科教育センター委員を委任して、次のような役割を担っていただきます。

- ① 学校における理科教育の推進を図る。
- ② 理科室の環境整備を図る。
- ③ 薬品等危険物の取り扱い並びに学校保管の仕方について指導助言を行う。

【平成27年度 理科教育センター組織】



常 任 委 員 会	
□運営委員（小教研理科校長 中教研理科校長 理科研究会会長 事務局）	
□常任委員	
【南 小】宮路 康幸	【日吉小】香月 正範
【明星中】江田 昭彦	【屏水中】津留崎秀明
【弓削小】井手 義隆	【御井小】廣重 邦彦

理 科 セ ン タ ー 委 員						
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	中学校
【下田】 宮原 泰輔	【田主丸】 樋口 幸助	【津福】 山口あゆみ	【西国分】 濱崎めぐみ	【篠山】 岡本 真紀	【南薫】 深川 祐子	【城南】喜多原健司 1
【日吉】 香月 正範	【荘島】 古賀 哲	【水分】 平野 真季	【小森野】 馬場 計臣	【山本】 坂井 有二	【大善寺】 宮田安利子	【江南】篠田 啓介 3
【東国分】 岡嶋 孝治	【鳥飼】 橋本 正照	【城島】 橋本 朋子	【西牟田】 牟田 安範	【荒木】 平井 真純	【善導寺】 田中 正明	【柳川】今村真由美 12
【上津】 北島 真弓	【川会】 川口 智子	【弓削】 井手 義隆	【三瀨】 吉田 道洋	【京町】 寺嶋 勲	【北野】 牟田 吉孝	【諏訪】後藤 麻美 3
【水縄】 吉瀬 靖子	【安武】 喜多原幸江	【高良内】 福家奈津美	【御井】 廣重 邦彦	【青木】 北原 伴信	【犬塚】 古野 隆	【良山】秋山 嘉宏 2
【長門石】 原 令佳	【大橋】 永松 勲	【青峰】 笹原 一将	【金丸】 大石 明子	【山川】 内野 秀華	【浮島】 三栗野正男	【明星】待鳥 訓宏 2
【宮ノ陣】 笠 典恵	【江上】 松延 花子	【竹野】 中山 礼佳	【合川】 片桐 愛美	【南】 杉山 秀行	【船越】 納富久美子	【宮ノ陣】泉 年治 1
		【柴刈】 合原 光恵	【大城】 田原 佳子	【金島】 後藤 恵子	【草野】 浮池 敦子	【荒木】山下 早苗 2
						【箕原】岩橋 芳則 2
						【屏水】津留崎秀明専
						【青陵】渡辺紳一郎 2
						【高輪】小森 就航 3
						【田丸】松原 成圭 2
						【北野】山口奈保子 1
						【城島】西見 昭彦 3
						【三瀨】内田 善雄 1

授業研究会

模擬授業形式で問題解決学習の展開を行う。（夏季休業中）★昨年度、本年度は県主催研修に参加。

実験・実技講習会

観察・実験前の手立て、観察・実験の手順、器具などの取り扱い方、観察・実験後の手立てを単元毎に行う。（夏季休業中）★昨年度、本年度は県主催研修に参加。

福岡県教育委員会主催の研修講座は以下の通りです。

★理科の観察・実験等に関する研究協議（福岡県教育委員会主催）

□小学校…校内研修等で中核的な役割を果たしている教員（各校1名）

□中学校…理科の教員で校内研修等で中核的な役割を果たしている教員（各校1名）

※平成26年度か平成27年度のどちらかで受講する。対象者は原則、A講座とB講座の両方を受講する。

【B講座】観察・実験講座

平成27年8月28日（金） 小学校…基本的な観察・実験の実習 福岡教育大学附属久留米小学校

平成27年8月20日（木） 中学校…専門性の高い観察・実験の実習 福岡教育大学

【A講座】授業研修講座

平成27年11月10日（火） 授業をもとに指導内容の系統と手だてについて

久留米市立南薫小学校 久留米市立牟田山中学校

※ 問い合わせは、学校教育課へ。

理科教育研究支援

理科を専門的に研究する教師の育成（断続研修等で）を図る

理科教育に関する調査研究

理科教育センターの望ましい効果ある事業を含め、久留米市における科学教育振興の在り方に関する調査研究を行う。

「理科の授業の工夫・改善」リーフレットは活用されていますか？

平成24年度から、科学教育振興研究班を中心に理科教育充実に向けた調査研究を行い、その成果をリーフレット(右写真)としてまとめ、昨年度、小学校のすべての先生と、中学校の理科担当の先生方に配布しました。

このリーフレットは、理科の授業を楽しくするために、「ねらいに応じた学習過程」「事象への働きかけ」「整理・考察する活動」「考え説明する活動」「学習環境の整備と充実」という5つの視点で、授業にすぐに役立つように作成されています。ぜひ、リーフレットを活用され、「理科がおもしろい」「理科が楽しい」だから、「理科がすき」といえる児童生徒が増えることを願っています。



理科教育センター備品・書籍・DVDの活用を

理科教育センター（久留米市教育センター）には、理科備品・書籍・DVDがあります。子どもたちの理科の学習に役立つものがたくさんあります。ぜひ、ご活用ください。貸し出し方法については、理科教育センター事務局（松下）までご連絡いただくか、各学校の理科教育センター委員の先生にお尋ねください。

【昨年度、よく活用された備品等】

- ◇流水実験器（石や砂も付いています）
- ◇デジタル顕微鏡（顕微鏡で見た物がテレビ画像にすぐ映せます）
- ◇骨と筋肉の動き模型（筋肉の動きがよく分かります）
- ◇簡易プラネタリウム（10名ほどの児童が入れる簡易プラネタリウムドームです）
- ◇ペルチェ素子（中学校でよく活用されました）
- ◇ビデオ・DVD教材（天体や地層に関するものが多く活用されました）